

男子体操競技で求められる演技とは:現実とマンガの比較

What is a brilliant performance in Men's Gymnastics? : A comparison between real and a comic

1K04B113-3

白石 哲士

指導教員

主査 寒川恒夫先生

副査 土屋純先生

序章 はじめに

体操競技は世界中で認知度の高いスポーツである一方、そのルールを理解している人は少ない。それは、体操競技のルールが毎年変わっている、ということが理由の一つとして挙げられるが、最大の理由は体操競技が採点競技の特性を持っているからだと考えられる。採点競技は、人によって感動や美しさの基準が変わってしまう為、国際的になる程、主観性よりも客観性を重視して採点が行わなければならない。したがって、そのルールはより複雑になるのだ。そして、それは時として観客が考える演技の魅力に比例しない。

体操競技に関する先行研究では男子体操競技の傾向として技の画一化や芸術性の希薄化が指摘されている。しかし、2006年から体操競技はルールが新しくなり、2005年までのルールと大きく変わった。したがって、未だ2006年版ルールを含めた研究は少ない。そして、スポーツが普及発展していく為には、競争条件の平等化、勝敗の客観化などの点から、より適切なルールを作ることが望ましい。また、スポーツ本来の特性やメディア、観客との間に生じる摩擦や葛藤に対する課題も解決していく必要がある。そこで本論文では、

- ① 2006年版ルールを含め、文献から男子体操競技の本質と変遷を読み取り、現代の傾向を検討する。
 - ② メディアの中で特にマンガに着目し、マンガに描かれる体操競技の表象から現在の男子体操競技について考察する。
- 以上の二点について論じる。

第一章 体操競技の概要

体操競技はどのようにして生まれ、広がっていったのか。体操競技の運動にはどのような特性があり、また、採点競技としてどういった特徴をもっているのだろうか。第一章では、体操競技に対する理解を深めるために、体操競技の歴史、スポーツ運動としての特性、採点競技としての特性がどのように考えられているかを示す。

第二章 男子体操競技の変遷とその傾向

男子体操競技が競技スポーツとして体系化してから現在に至るまで、演技や使用される器械がどのように変化していったのか。また、体操競技のルールブック「採点規則」から、どのような演技が男子体操競技のチャンピオンとして相応しいとされてきたのかを読み取る。そして、男子体操競技の問題点として考えられていたことが、2006年に新ルールに変わったことで解決されたのか。また、採点規則から現在求められるチャンピオンとしての条件と現代男子体操競技の傾向を考える。

第三章 マンガに描かれる体操競技

マンガの読者の多くは子供たちだったが、現在、大人もマンガを読むといった日本の文化の中では、マンガメディアの特徴から、より現実の不满や理想が描かれていると考えられる。では、実際にどのように描かれているのだろうか。体操競技を題材にしたマンガはいくつかあるが、その中で最も現在のルールに近く、男子体操競技を題材としたマンガの中では最新のマンガ『ガンバ！Fly high』に注目し、体操競技のすばらしい演技の表象について考察する。

終章 結論

マンガに描かれる理想の演技と現代の体操競技で求められる理想の演技を比較し、男子体操競技の芸術性の差が明らかになった。

体操競技のルールは2006年から新しくなり、以前のルールよりも競技スポーツとしての問題点を解決したように思える。しかし、それに伴い浮上してきた問題も考えられる。より客観的な採点になるにつれて多くの民族的、地域的な芸術性のある技が消えていき、技の捌き方も画一化されつつある現在の男子体操競技で見られる芸術性とは、独創性の高い技や組み合わせ方、又はゆか運動の移動や技以外の部分で表現されるものなのだ。そして、それらは男子体操競技が芸術スポーツとして考えられる現在の要素だと考えられる。